

理事の仕事

理事に任命されたら知っておきたい基本事項

本郷北コミュニティ推進協議会

はじめに

誰でもそうですが、地域の役員を引き受けるのはいやなものです。ではいやな原因はどこにあるのでしょうか。自分の仕事があって時間が取れない。責任を負わせられるのはいやだ。コミュニティの人的交流がない。など様々理由はあるでしょう。ですが一番不安に思うことは「コミュニティってなんなの?」「何をしたらいいの?」「どんな人たちと活動するの?」など分からないことだらけなのが役員になりたがらない大きな理由だと思います。かつての私もそうでしたので、特に初めてコミュニティの理事など押し付けられた方へ、私なりに解釈した理事の仕事に関して僭越ながらアドバイスしたいと思います。どうせ引き受けてしまった仕事なら一緒に楽しくやりましょう。

そしてこのアドバイスが、理事のお仕事の一助となれば幸いに思います。

理事の役割は概ねこんなところです

- 1) コミュニティについて大雑把に理解する
- 2) 4月に行われる総会に出席する
- 3) 5月に行われる第1回専門部会会議に出席する（部会員を招集する）
- 4) 専門部会で行事の企画をする 企画会議をする（部会員を招集する）
- 5) 企画した行事を実行する（部会員の役割分担・予算と経費の管理）
- 5) 本北コミュニティが主催する年間行事に参加する（部会員の役割分担）
- 6) 年度末に活動報告と決算報告を執行部に提出する

以下のページで少し詳しく解説します

① 社会福祉協議会と地域コミュニティとは？

社会福祉協議会の目的と役割

地域が抱えるさまざまな福祉課題を地域全体の課題としてとらえ、みんなで考え、話し合い、協力して解決を図ることを目的としています。さらに、その活動をとおして、心ふれあう「福祉のまちづくり」の実現を目指しています。住民が福祉活動に参加できる場をつくるとともに、仲間づくりなどを支援しています。

地域コミュニティの理念

地域 みんなが笑顔で暮らせる元気なまちをつくりたい。地域コミュニティは、そんな思いを持って、地域をより良くするために活動する住民同士のつながりや集まりのことをいいます。地域コミュニティでは、自治会をはじめ、老人会や婦人会、子ども会、地域づくり団体など様々な団体が活動を行っています。

上三川町社会福祉協議会は、かみのかわいきいきプラザ1階に事務所を有し、町内の地区社協連絡協議会と連携して町内の福祉活動を行っています。なお、上三川町には下記の7地区社会福祉協議会があります。

- 1) 本郷小学校地区社会福祉協議会（本郷コミュニティ推進協議会）
- 2) 北小学校地区社会福祉協議会
- 3) 上三川小学校地区社会福祉協議会
- 4) 明治小学校地区社会福祉協議会（明治コミュニティ推進協議会）
- 5) 明治南小学校地区社会福祉協議会（明治南コミュニティ推進協議会）
- 6) 坂上小学校地区社会福祉協議会
- 7) 本郷北小学校地区社会福祉協議会（本郷北コミュニティ推進協議会）

② 本郷北コミュニティ推進協議会について

町内の各地区社会福祉協議会は、上三川町社会福祉協議会から毎年運営助成金を受け活動を行っています。主な活動は「食事サービスボランティア活動」「ふれあい・いきいきサロン」「くろねえ会議」などになりますが、その他に各協議会独自の企画により様々な行事が実施されています。

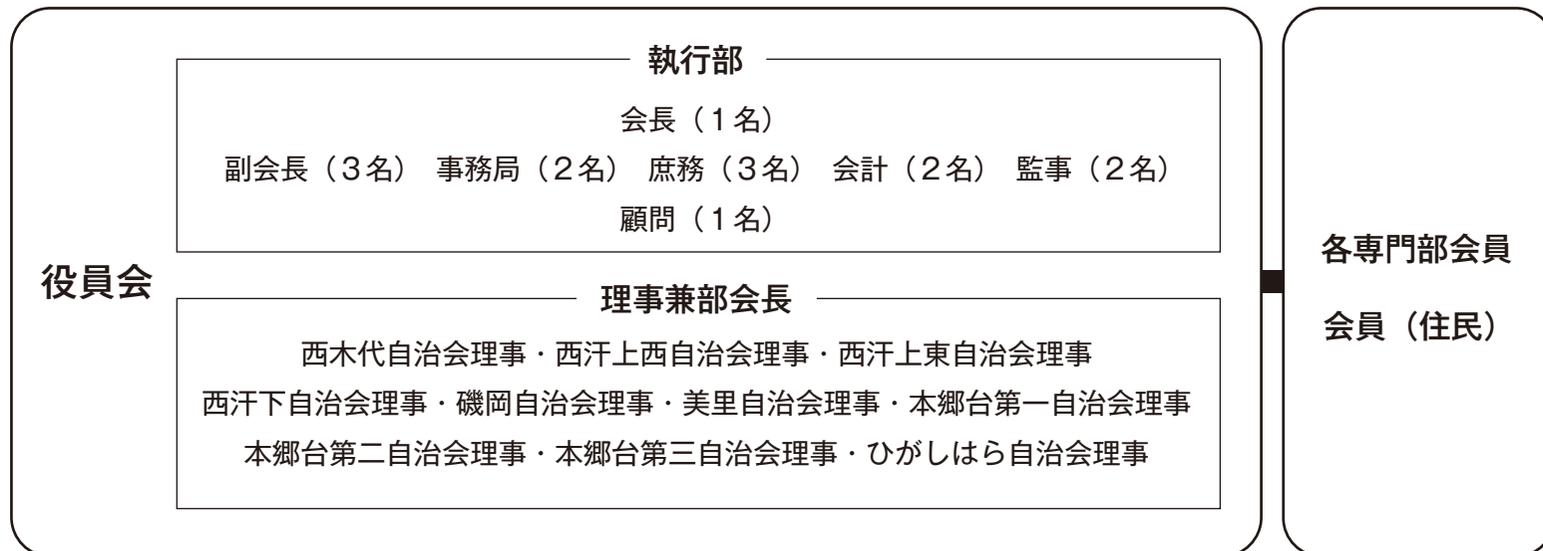
本郷北コミュニティ推進協議会独自の行事を企画運営するのが、本郷北コミュニティの執行部と理事を中心として構成される実行委員会のメンバーとなります。

本郷北コミュニティ推進協議会には次の9つの専門部会があります。

- 青少年健全育成部会 ●女性部会 ●高齢者部会 ●地域産業部会 ●地域福祉部会
- 生活安全部会 ●体育部会 ●文化振興部会 ●広報部会

◎各専門部会の部会長は、各自治会から選任された理事が割り当てられます。

本郷北コミュニティ推進協議会組織図



③ 理事（部会長）の仕事

理事（部会長）に任命されたら次のような仕事があります。

◎定例のコミュニティ総会に出席する（毎年4月中旬）。

◎第1回専門部会会議へ出席する（毎年5月下旬）

部会長が各自治会の部会員に会議の内容、日時を連絡し会議に招集します。

会議の目的：年度内に自分たちの部会が行う行事について話し合います。

2回目以降も部会会議の開催日時が決まったら、各自治会の部会員に連絡し招集します。

グループLINEで会議を簡略化することを奨励します。

※コミュニティセンターを利用する場合は、ほかの利用者とかぶらないように執行部に確認してください。

◎実施する行事が決まったら

①役割分担と必要経費を確認する。（部会の活動費は4月に支給されます）

※経費が部会活動費におさまらない場合は執行部に相談してください。

②住民みんなに知らせるため、回覧用の書類やチラシを作り配布する。

※前任者に相談したり、過去の実施内容を参考にする。

※回覧は会員戸数が多い自治会もあるので1カ月前には回覧できるようにする。

※チラシがうまく作れない場合は、執行部に相談してください。

※参加申し込み受け付けは、プライベートを気にする方にはコミュニティのメールアドレスでも受けられるように設定できます。詳しくは執行部に相談してください。

③当日は参加者と一緒に楽しんでください。

※行事の様子を記録しておいてください。あらかじめ広報部に連絡してもOKです。

④ 専門部会の活動（例）

〇〇〇部会の例



【専門部会会議】

部会長：それでは今年度〇〇〇部会としてなにかやりたい行事はありますか？

部会員 A：今までに何度か開催されたことですが、私はまだ参加したことがないので「AED 講習」を受けてみたいです。

部会員 B：私も参加したいです。

部会員 C：AED は何度講習を受けても有意義だと思います。

部会長：ほかの皆さんはどうでしょう？

参加者：とてもいいと思います。

部会長：では過去の事例を参考にして、執行部や消防署と相談し具体的な内容を詰めたいと思います。決定したら回覧用のチラシを作って配布します。
今後は皆さんお忙しいと思いますので、グループLINEで連絡意見交換したいと思います。

参加者：わかりました。

【行事開催当日とその後】

当日の行事には部会員ともども積極的に参加してください。

会議でのお茶代やその他かかった経費のレシートや領収書など、保存しておいてください。（配布された用紙に糊付けする）

当日の参加人数や行事の様子を簡単に記録し、「本北コミセン理事のグループLINE」に書き込んで報告してください。

※連絡と報告はグループLINE を積極的に利用しましょう

⑤ 行事の企画と回覧チラシの考え方

過去に事例のない行事の企画も大歓迎です。その時はどのようにアイデアを具現化したらいいのかご存じとは思いますが、5W2H方式で簡単に説明します。

〇〇部会では会議の結果、夏休みに「親子工作教室」を開催することにしました。

内容は、昔懐かしい「ゴム動力竹ひご飛行機」の組み立てと組み立てた飛行機の飛ばし体験です。



●企画の全体感と骨子（5W2H）

- Who（だれが） → 〇〇部会が主催で
- When（いつ） → 学校が夏休み中 8月〇日（日曜日）
- Where（どこで） → コミュニティセンター・本北小校庭
- What（なにを） → ゴム動力飛行機の工作・飛行機飛ばし体験
- Why（なぜ） → 子供たちに自分の手で何かを作る喜びを体験してほしい
- How（どのように） → 参加希望者を回覧で募集
執行部にコミセンの使用予約状況を確認
校庭または体育館を使用するときは事前に学校と日時の相談をする
- How Much（いくら） → 材料費（キット代）や工作用具など必要経費を調べる

※前もって自分たちで工作体験をし、費用や所要時間を確認することも大切です。

せっかく企画したイベントなので、多くの参加者が集まるような広告を作りましょう。

まずは回覧チラシの制作です。

前ページの5W2Hを文字原稿として、あと特に肝心なのが「アイキャッチ」となる写真やイラストをいれて、チラシを見た人の興味と関心を惹くことです。

告知チラシのほかに、参加申し込みの用紙も添付するのを忘れてはなりません。

参加申し込み用紙は、決めた日までに、自治会長さんにまとめてもらいコミセン玄関のポストに投函してもらいましょう。

参加者が個人情報を見られたくないと判断される場合は、執行部に相談いただければ、スマホから応募できるように設定できます。

文字原稿の例

タイトル：「夏休み親子工作教室」開催のご案内

キャッチコピー：自分で作った飛行機を大空に飛ばしてみよう！

コピー：〇〇部会では、夏休みを利用して親子で何かをやり家族の絆を深めてほしい、そして自分たちで何かを作り作ることの喜びを感じてほしいと願い、昔懐かしい「ゴム動力飛行機」の工作会を企画しました。工作は久しぶりという方も初めてやってみようという方も、ぜひ一緒に楽しみましょう。

日時：8月〇日午前9時より3時間程度

場所：本郷北コミュニティセンターおよび本北小校庭

応募要領：男女問わずコミュニティ内にお住いの小学生から中学生と家族、ぜひ親子で参加してください。

添付の参加申し込み用紙に記入し回覧で回してください。個人情報に気になる方は、申込用紙のQRコードをスマホで読み取り必要事項を記入して送信してください。

参加費用：1キット当たり1,500円。キット持ち込みの場合は無料。

応募締め切り：8月〇日まで

●チラシの印刷枚数は、各自治会の班数 +1 枚（自治会長控え分）。コミセン予備分としてトータル 150 枚は印刷してください。

■西木代5枚 ■西汗上西 14枚 ■西汗上東6枚 ■西汗下 21枚 ■磯岡7枚 ■美里 17枚 ■本郷台第一 21枚 ■本郷台第二 17枚 ■本郷台第三 20枚 ひがしはら3枚
上記枚数を各自治会会長または担当者に回覧依頼をしてください。

チラシの例

回覧

本郷北コミュニティ推進協議会
会長 田仲 均
〇〇部会 部長 〇〇 〇〇
発行 令和 年 月吉日



「夏休み親子工作教室」開催のご案内

自分で作った飛行機を大空に飛ばしてみよう！

〇〇部会では、夏休みを利用して親子で何かをやり家族の絆を深めてほしい、そして自分たちで何かを作り作る喜びを感じてほしいと願い、昔懐かしい「ゴム動力飛行機」の工作会を企画しました。工作は久しぶりという方も初めてやってみようという方も、ぜひ一緒に楽しみましょう。



工作会は雨天時でも室内なので開催します。
飛行体験は状況に応じて変更します。

日時：8月〇日午前9時より

場所：本郷北コミュニティセンター・本北小校庭（飛ばし体験）

応募要領：男女問わず小学生から中学生（子供だけでもOK）ぜひ家族で参加してください。

添付の参加申し込み用紙に記入し回覧してください。個人情報に気になる方は、申込用紙のQRコードをスマホで読み取り必要事項を記入して送信してください。

参加費用：工作キットが必要な場合は1キット1,500円がかかります。希望キット数を申込書欄に記入してください。

キットを持ち込みの場合は「なし」とお書きください。持ち込みの場合は参加費無料です。キットは、ジョイフル本田2階売り場や、インターネットから購入できます。

応募締め切りは8月〇日まで

応募用紙の例

本郷北コミュニティ推進協議会 会長 田仲 均
〇〇部会 部長 〇〇 〇〇
発行 令和 年 月吉日

「夏休み親子工作教室」参加申込書

令和 年 月 日（日曜日） 午前9時 コミセンに集合



プライバシーが気になる方はQRコードからお申し込みください

自治会名	自治会	班	代表者お名前		
電話番号			参加人数	大人 名	子ども 名 希望キット数 個

自治会名	自治会	班	代表者お名前		
電話番号			参加人数	大人 名	子ども 名 希望キット数 個

自治会名	自治会	班	代表者お名前		
電話番号			参加人数	大人 名	子ども 名 希望キット数 個

自治会名	自治会	班	代表者お名前		
電話番号			参加人数	大人 名	子ども 名 希望キット数 個

自治会名	自治会	班	代表者お名前		
電話番号			参加人数	大人 名	子ども 名 希望キット数 個

自治会名	自治会	班	代表者お名前		
電話番号			参加人数	大人 名	子ども 名 希望キット数 個

自治会名	自治会	班	代表者お名前		
電話番号			参加人数	大人 名	子ども 名 希望キット数 個

※〇〇部会の部会員もご記入をお願いいたします。

※各自治会長様は、申し込み用紙を集約の上 月 日までにコミセン郵便受け（入口の左壁）に投函してください。

⑥ コミュニティ年間行事に参加

本北コミュニティの主な年間行事は次の通りです。

- ① ふれあい盆踊り（8月下旬）
- ② 本北コミセン祭り（10月下旬）
- ③ 新規計画 自然災害に遭った時の対応体験（2月ごろ）
- ④ その他 クォーター清掃

①ふれあい盆踊り、②本北コミセン祭りは執行部役員と各部会長が実行委員会を組織し、各部会員全員に協力を呼びかけ前日の準備から当日の運営まで役割分担し実施されます。

本北コミュニティの行事は、皆様の協力のおかげで上三川町内において、行事内容や参加者数とも毎年高い評価をいただいています。

また、令和6年度からは③の新規計画として住民皆様の役に立つ新たな災害対応事業を計画しています。

④のクォーター清掃は、みんなが利用するコミュニティセンターを大切に維持するため、3～4カ月ごとにコミセン屋内はもとより駐車場や庭の雑草取りなど、住民が参加して掃除をする行事です。

クォータ掃除についてはまだまだ知名度が低いため、より多くの呼びかけが必要だと考えます。

⑦ 各種書類について

4月の総会時において執行部がお渡しする書類は下記のとおりです。理事または自治会長は適切に処理の上執行部に掲出してください。

書類タイトル	担当者	書類説明	提出時期	コミュニティ担当
会費納入についてのお願い	自治会長	コミュニティ会費納入のお願い		コミュニティ会長
会費納入報告書	自治会長	会費を納入した報告書	5月提出期限まで	コミュニティ会長
領収書	自治会長	コミュニティ会費の領収書	5月提出期限まで	コミュニティ会長
活動費の仮払金支給について	部会長	部会活動費の金額と用途の説明		コミュニティ会長
仮払金預かり証	部会長	部会活動費を受け取った証明書	活動費を受け取った時	コミュニティ会長
専門部活動報告書	部会長	年度内どんな活動をしたのか報告	年度末（2月下旬）	執行部事務局
令和 年度 専門部会 会計報告	部会長	活動に使った金額と残金の報告	年度末（2月下旬）	執行部会計
領収書貼付け用紙	部会長	領収書やレシートを糊付けする	年度末（2月下旬）	執行部会計

おわりに

コミュニティ活動は完全ボランティアなので報酬が支払われるわけではありません。しかし、見返りがなくても困っている人を助けたいとか、何かの形で地域に貢献したいと思っている人は少なからずいるのではないのでしょうか。

コミュニティ活動に参加できない理由は全国的なアンケートでも「時間がない」「知識がない」という理由が大半です。ボランティアは強制されるものではなく、「できる人が、できるときに、できることをやる」という基本的な考えのもとに活動されるものです。誰でもそうですが仕事優先が当然のことです。しかしできる範囲で1年間の数日を地域の皆さんと活動してみてもはどうでしょうか。知らなかった人との交流や、違った生き甲斐がそこにあるかもしれません。どうせなら楽しんで活動に参加してはいかがでしょうか。

令和6年度本北コミュニティ副会長 根本誠一